

家庭ごみの収集のお知らせ

お知らせ



4月1日から
家庭ごみの収集日等を
一部変更します

合併の一元化調整により、
4月1日から左表のとおり家

収集品目	収集回数	収集日
燃やすごみ	週2回	今回の市広報と同時配布した「平成20年度家庭ごみ収集計画表(A3版)」をご覧ください。
燃やさないごみ	月1回	
びん・かん	月1回	
ペットボトル	月1回	
紙製容器包装	月1回	
プラスチック製容器包装	月2回	

庭ごみの収集回数と収集日を一部変更します。ごみの排出の際には十分注意ください。

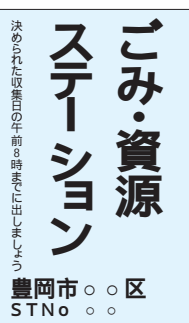


▲「平成20年度家庭ごみ収集計画表(A3版)」(例)

ごみステーションに
統一した看板を
新たに設置します

4月から家庭ごみの収集日等を一部変更することに合わせ、ステーションごとに統一したデザインの「ごみステーション」看板を設置することにしました。

この看板には、収集曜日等は表示されていませんので、家庭ごみを排出される際には、



▲統一した看板

今回配布しました家庭ごみ収集計画表(A3版)を確認の上、排出していただくようお願いいたします。

家庭ごみは
必ず午前8時までに
ごみステーションに
出してください



家庭ごみの収集は、午前8時から行うこととしていますが、1日かけて収集を行うため、地区によって収集時間が異なります。

また、同一地区においても、収集するごみ量やその日の都合によって、収集時間が大き

くずれ込むことがあります。よく、市民の方から「ごみを業者が取り残している」との苦情をいただきますが、調べてみると業者が通過してから排出された例がほとんどです。各地域の収集時間を約束することはできませんので、家庭ごみは必ず「午前8時まで」に出してください。

ごみ収集・運搬作業中の
委託業者は
「黄色いステッカー」
を表示しています

4月1日から下表のとおり、ごみ収集・運搬委託業者が一部変更となります。



委託業者は、自社の車両で、家庭ごみの収集と運搬を行いますので、市全体の中では車両が統一されていません。そこで、4月1日から家庭ごみの収集運搬作業を実施している時には、市の指定した「黄色いステッカー」を両側のドアに表示することを義務付けます。

なお、近年、部外者に家庭ごみが抜き取られるなどの事

ステッカーの表示例

豊岡市家庭ごみ
収集運搬作業車
会社名

地域名	委託業者
豊岡地域(港地区を除く)	西村建設工業(株) / (有)五洋商事
城崎地域・港地区	(株)マツバラ
竹野地域	(有)浜上商会
日高地域	植田清掃社
出石地域	(株)但馬環境
但東地域	(有)但東クリーンセンター

例が多発していますので、ステッカーの表示のない車両が、家庭ごみの収集を行っている現場を見かけた場合は、車両ナンバー等を控え、連絡ください。

《問合せ》生活環境課

より良い環境を次の世代へ

環境基本計画 ②

「6つの合言葉」

私たちが、いつも環境を考えて行動できるように、次の6つの合言葉を設けました。
《問合せ》コウノトリ共生課



もったいない

昔から日本人は、物を無駄にしたり、人から物をもらったら、「もったいない」と感謝する心を持ち、物をとても大切にしてきました。

ばちがあたる

台風や地震など自然の大きな力や目に見えない力に対して、おそれの念を持つ謙虚な心のことです。環境に負荷を与える行動にブレーキをかける言葉です。

ちょっとでも

地球温暖化など大きな課題に対しては、一人ひとりの小さな行動は、やっても無駄だと思われがちですが、「ちょっとでも」できることの積み重ねが大切です。

つなが

個人や企業など、それぞれ個々の取組みでは実現困難なことも、他者と「つながる」ことで、大きな取組みになり、成果も得られます。

心地よい

「もったいない」や「ちょっとでも」の取組みから成果が得られたり、他者とつながったり、自然とふれあうことで、日々の暮らしを楽しむことができれば「心地よい」と感じられます。

自信・誇り

環境を良くする取組みから成果が生まれ、それが外部から評価されると自信がつきます。さらに、自分の行動に誇りが持てれば、次の取組みにつながっていきます。

環境あれこれ

13

地球温暖化について考えてみましょう

環境に関する問題について、市の取組みなどをシリーズでお知らせします。
《問合せ》生活環境課

■温室効果ガスとは

大気中の二酸化炭素やメタンガスは、太陽からの熱を地球に封じ込め、地表を暖める働きがあります。これらが人為的な要因で大気中に蓄積し、平均気温が短期間で急速に上昇する現象を私たちは「地球温暖化」と呼んでいます。

1998年に制定された地球温暖化対策の推進に関する法律の中で、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、代替フロン等の6種類のガスが温室効果ガスとして定められています。

■9割以上が二酸化炭素

日本では、温室効果ガスの9割以上を二酸化炭素が占めており、その内、経済活動や日常生活に密接に関係するエネルギー消費によるものが、全排出量の9割弱を占めています。したがって、地球温暖化問題はエネルギー問題であるといえます。

また、日本の二酸化炭素の排出量は、アメリカ、中国、ロシアに次ぐ世界第4位であり、日本は地球温暖化対策に大きな責任を負っています。

■地球温暖化の影響

地球温暖化はどのような問題を招くのでしょうか。

気象への影響

気象の変動により、世界各地で水害や渇水の危険性が増加します。ハリケーンや台風が大型化してきているのも温暖化の影響であると言われています。

自然生態系への影響

急激な温度変化に対応できない多くの動植物の種が絶滅の危機にさらされ、食物連鎖の頂点にいる人間の生存が脅かされます。

農業への影響

異常気象により地球レベルで農業被害が生じ、現在の地球人口を賄う食料調達が困難になります。

海水面上昇
海水の膨張や氷河の溶解により、海面が上昇し、沿岸部が水没します。ツバルなど国ごと水没する危険性のある地域もあります。

健康への影響

赤道周辺地域の風土病が、日本やヨーロッパの国々で発生する可能性が高まります。

■世界的な人口の増加

現在、日本や欧米などは、少子化により人口は減少傾向にあります。地球規模では人口は66億人を超え、今後もその数は増加する傾向にあります。そのため、それに伴う急激なエネルギー消費量の増加が懸念されています。

しかし、大量にエネルギーを消費しているのは、人口が増加している発展途上国ではなく、日本や欧米諸国などであるということを忘れてはいけません。

私たちは、未来のために、ライフスタイルの見直しを求められています。

